

2021年(令和3年)度 事業報告書

2021年4月1日より2022年3月31日まで

第1 公益目的事業

定款第4条に掲げる事業は、次の計画により行った。

公1 がんに関する学術研究集会の定期開催、ならびに海外学術調査研究事業

① 国際がんシンポジウム事業(第39回)

第39回国際がんシンポジウムは2021年7月6日～7日の2日間、国内外から22名の研究者を招き、ロイトン札幌にてWEB とのハイブリット形式で開催した。テーマは「Cell reprogramming and cancer: Impact of cancer epigenetics (細胞リプログラミングとがん:がんエピゲノム異常の重要性)」、代表世話人は(公財)がん研究会がん研究所発がん研究部部長の中村卓郎氏で、オンラインを含め172名の参加者を得て盛会裏に終了した。

② 冬季がんセミナー事業(第36回)

2022年1月29日(土)、道内外から8名のがん研究者を招き、WEB 形式にて開催した。テーマは「いまがんを考える 2022—With コロナ時代の最先端がん医療—」、代表世話人は北海道大学大学院医学研究院血液内科学教室教授 豊嶋崇徳氏で、WEB で226名の参加者を得て盛会裏に終了した(大鵬薬品工業(株)との共催)。

③ 市民がつくる春のがんセミナー事業

2022年3月26日(土)、北海道医師会館8階会議室にて会場とWEB とのハイブリット形式で開催した。北海道大学病院乳腺外科教授の高橋将人先生、斗南病院腫瘍内科診療部長の辻靖先生のお2人にご講演をいただき、会場での参加者14名、WEB参加は34名で盛会裏に終了した(北海道医師会との共催)。

公2 がん予防・啓発、ならびにがん相談事業

④ がん啓発・予防事業

中学生・高校生向けのがん教育教材「がんを話そう」を制作した。またこの教材につけるシナリオも作成した。なおこの教材はがんセミナーのホームページからダウンロードできるようにした。さらに今後、道庁保健福祉部、札幌市教育委員会等の協力をいただいて普及を進めていきたいと考えている。

インセンティブ・ファンドについては新規の申し込みはなかった。事業継続中の市立札幌開成中等教育学校にて活動を行っている。

出前授業を行う外部講師への謝金支援事業も行い、応募のあった小学校6校、中学校2校の計8校へ支給した。また、がん患者及び家族への無料相談を事務局にて行った。

⑤ 広報関連事業

広報誌 The Way Forward を年2回作成し、関係機関へ配布した。その他、ホームページの更新などを行い、財団活動を広く周知した。

公3 医学・医療・福祉など関係の学会研究の助成事業

⑥ 学会助成事業

本年度は助成事業は行わなかった。